

1 概要

- (1) 開催日：平成30年2月20日（火）
（於：アルゼンチン・ブエノスアイレス）
- (2) 対話での主要議題
 - ① アルゼンチン・日本の今後の農林水産業政策の展開方向
 - ② 日亜間のビジネス関係の強化
（日系農業者との連携強化及び日本の食品輸出・日本食普及を含む。）
 - ③ アルゼンチンにおける投資・ビジネス環境の改善
（アルゼンチンでの投資や事業展開にあたっての日本企業の要望を取りまとめ、福島大使よりアルゼンチン側代表に提案書を手交）
 - ④ G20での協力（アルゼンチンは2018年議長国、日本は2019年議長国）
- (3) 対話開催の意義
アルゼンチンのみならず、ブラジル、チリ、ウルグアイに進出している日系企業も出席し、アルゼンチンの投資環境や日系企業の活動について情報交換を行うとともに、日系企業の要望を伝達。



2 出席者

日本側：柱本大臣官房参事官、福島駐亜日本国大使、食品企業、商社、分析機器メーカー等計20社※の代表、JETRO、JICA

※ 亜国三菱商事、アルゼンチン三井物産、ブラジル三井物産、チリ三井物産、兼松南米会社、豊田通商アルゼンチン、三井化学ブラジル、双日アルゼンチン、伊藤忠商事ブエノスアイレス事務所、Shimadzu do Brasil、丸紅アルゼンチン、丸紅ブラジル、片岡物産、アルゼンチン住友商事、サカタシード・スタメリカ、ブラジル日清食品、東亜商事、日本ハムフーズ・チリ、Breeders & Packers Uruguay、NECアルゼンチン

アルゼンチン側：エチェベレ農産業大臣、デルソラル首席補佐官、シルベイラ農牧市場担当次官、ニーモ食料飲料担当次官、民間企業 他